

有限会社 高喜鉄工

DX宣言書

2024年12月24日
有限会社 高喜鉄工
代表取締役 北村 智子

□ 経営理念

鉄のプロであるチーム高喜は、鉄壁のチームワークと高い品質によって、社会の骨を組み街をつくる夢のある仕事をします

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

DX推進を通じて更なる品質向上を目指し、お客さまに満足いただくとともに、従業員が輝き続けられる職場を作ります

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在～2025年4月)

戦略 「過去の取組内容の振り返りと人材育成の強化」

- 施策
- 社内からDX推進に共感するメンバーを集め、DX推進チームを結成
 - メンバーの育成のため、IT関連の知識を身に付ける勉強会等を実施
 - 過去に実施したDXの取組内容を整理し、良かった点や今後の改善点を抽出

➤ フェーズ2(2025年5月～2026年4月)

戦略 「生産現場の業務可視化と進捗管理の強化」

- 施策
- 各部署へのヒアリング等により業務プロセスを可視化し、従業員が抱える課題を特定
 - フェーズ1にて抽出した改善点と上記施策で特定した課題に、優先順位をつけたうえでDX実行計画を策定、実行
 - 生産現場の作業進捗を管理するため、報告プロセスや報告タイミングのルールを設定し、ITツールを活用してリアルタイムに進捗状況を把握できる仕組みを導入
 - 属人化を解消するために、可視化した業務プロセスに対して標準化可能な箇所を特定し、マニュアルの作成等対応策を検討

➤ フェーズ3(2026年5月～2027年12月)

戦略 「バックオフィス業務のデジタル化と企業価値の向上」

- 施策
- バックオフィス業務のデジタル化を推進するため、可視化した業務プロセスを基に手動作業を特定し、必要に応じてITツールの導入を検討
 - ペーパーレス化に向け、紙媒体で管理していた工程表等の資料を電子化
 - 各種取り組みによるDX推進が従業員の満足度向上に繋がっているか検証するとともに、企業価値を高める公的認定取得を検討
 - デジタル化の取り組みを積極的に発信する等、事業内容を含め企業の知名度を高めるような採用活動を実施

□ DX推進体制

- DX推進プロジェクトを設置し、代表取締役を実務執行統括責任者とします
- DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- 従業員一人一人の予実管理の開始 : 2026年5月～
- 従業員満足度の調査や公的認定の取得 : ～ 2027年12月
- 現場の紙削減率 : 2024年度比 25%(～ 2027年12月)